

<https://www.sumitomo.gr.jp/>

住友化学株式会社
住友重機械工業株式会社
株式会社三井住友銀行
住友金属鉱山株式会社
住友商事株式会社
三井住友信託銀行株式会社
住友生命保険相互会社
株式会社住友倉庫
住友電気工業株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
日本板硝子株式会社
NEC
住友不動産株式会社
住友大阪セメント株式会社
住友ベークライト株式会社
住友林業株式会社
住友ゴム工業株式会社
住友ファーマ株式会社
三井住友カード株式会社
住友建機株式会社
住友精化株式会社
住友精密工業株式会社
住友電装株式会社
株式会社日本総合研究所
三井住友ファイナンス&リース株式会社
SMBC日興証券株式会社
SCSK株式会社
住友理工株式会社
日新電機株式会社
株式会社明電舎
住友三井オートサービス株式会社

Publisher
住友グループ広報委員会

Planning & Editing
日経BPコンサルティング

Printing
大日本印刷

Design
LEX

©住友グループ広報委員会2026
本誌記事、写真、イラストの無断転載を禁じます。



SQ



Sustainable Innovation
with a **Human Touch**

目次

- 2 ■ 叶えたい未来がある
明電舎
中川彰利さん
- 4 ■ つくり手の思いが伝わる
サステナブルイノベーション
- 12 ■ Let's talk!
- 14 ■ イラストポ
田中未樹の住友グループ探訪
DUNLOP（住友ゴム工業）
白河工場
- 17 ■ 世界とつながる私たち
三井住友ファイナンス&リース
齊藤雅敏さん
- 18 ■ 近代住友の歩み
- 20 ■ ニュース&トピックス



明電舎
研究開発本部 セラミック応用開発部
中川彰利さん

Our Aspirations

叶えたい未来がある



メンバーと
「下水」のポーズ

好きな気持ち異分野の扉を開く社員発のゲームアプリ

2 026年4月発売の明電舎のゲームアプリ「下水王国」は部門を越えた多様な仲間による“好きなことを仕事に”という情熱から生まれた。本作は、下水処理の仕組みや課題をストーリー仕立てで楽しく学べるゲーム。微生物をモチーフにしたキャラクター「バクチモン」たちが、次々に流れ込む汚染生命体を迎え撃ち、下水を“浄化”していく。実際の現場のリアルなノウハウを反映したシナリオや下水処理施設を効率的に運営するためのシステム設計など、細部までこだわり抜かれている。

本業とは異なるプロジェクトの立ち上げにあたり、研究開発本部の中川彰利さんは2023年、社内アイデアコンテスト「MEIANチャレンジ」への参加を決意した。ゲーム好きの中川さんの発想は、下水処理を題材にゲーム化するという斬新なもの。しかし1人ではアイデアが足りない。仲間を求め、部門横断的に声をかけていった。直接的な接点がない他部署の社員にも「ゲームやアニメが好きな社員はいないか」とネットワークを広げた。こうして集まった8人は、名古屋、東京本社、沼津、太田など拠点は様々。

人事・知財・設計・工場現場と部門も異なるメンバーだった。8人はオンラインで創作活動や打ち合わせを重ねた。イラストや音楽制作にたけたメンバーはイメージ映像を仕上げるなど、それぞれの強みを生かして本気で取り組み、コンテストの発表に挑んだ。「発表が終わったあとの数秒間くらい、会場が静まり返りました。あまりに意外な内容だったからでしょう。社内投票では2位に倍の差をつける最多得票となり、製品化へとつながりました」と振り返る。事業創造の源泉は好きを原点としたチャレンジ精神。

部門の壁を越えた連携が生み出す相乗効果は、新しい価値と可能性を切り開いた。コンテスト後すぐにプロジェクトが発足。社内の有志メンバーと、アプリやゲーム用のソフトを開発する「クローバーラボ」など外部クリエイターとの共創によりアプリは制作された。中川さんは「今回のチャレンジで、自分のやりたいことを仕事にどう結び付けるかを考え、熱意をぶつければ会社は受け入れてくれると分かった」と語る。年齢や立場にかかわらず、勇気を出して挑戦する姿勢は、新しい風を生むのだ。⑩

Sustainable Innovation with a *Human Touch*

つくり手の思いが伝わる サステナブルイノベーション

近年、効率や利便性の追求だけでなく、製品やサービスが誰によって、どのように生み出され、社会へどのように貢献しているかが見えるビジネスモデルへの関心が高まっている。これからの企業活動には、人と地球への配慮、地域社会との共生、責任の明確化、そして持続可能な未来への貢献が不可欠だ。つくり手の思いが伝わるサステナブルイノベーションの現状と未来像を、住友グループ2社の取り組みから考える。

住友林業には国内外に保有・管理する森林がある。国内取扱高トップの木材商社として、世界中から上質な木材を調達している。

PART 1

木を知り尽くし、 余すところなく使いきる

住友林業

住友林業は内装建材ブランド「PRIME WOOD」を通じて、木に囲まれた豊かな暮らしを消費者に届けている。気候変動や生物多様性の損失など地球規模の課題は深刻化している。森林の育成・管理から木材の調達、加工・製造、木造建築、木質バイオマス発電まで「木」を軸にした住友林業のバリューチェーン「WOOD CYCLE」を基盤に、脱炭素とネイチャーポジティブの実現に貢献していく。

インドネシアで育ったチーク。雨期と乾期の区分が明確な気候の森で育つため耐候性に優れる。

木は、育った山で価値が決まるわけではない。いつどこで伐採して、どう乾燥させ、どのような部材に仕立てて、どれだけ長く使うか。その連続が脱炭素と生物多様性の時代に「責任ある素材」として価値をなす。

住友林業は2030年を見据えた長期ビジョン「Mission TREEING 2030」を策定し、中期経営計画で「事業とESGの更なる一体化」を基本方針の1つに据えた。木という自然資本を扱う住友林業にとって、サステナビリティは事業基盤そのものだ。

住友林業は、森林の育成・管理から木材の調達、加工・製造、木造建築、木質バイオマス発電まで「木」を軸にしたバリューチェーンを「WOOD CYCLE（ウッドサイクル）」と表現している。ウッドサイクルを回すことで、森林のCO₂吸収量を増やし、木造建築の普及で炭素を長年にわたり固定し、社会全体の脱炭素に貢献することを目指している。

ウッドサイクルの循環を、消費者に身近な商品として想

起できるようにしたのが住宅の内装建材ブランド「PRIME WOOD（プライムウッド）」だ。アッシュ、オーク、チェリー、チーク、ウォルナットなど外国産材からスギ、ナラ、タモなどの国産材まで、世界中から厳選した銘木を使用し、高い加工技術でつくり上げられた高品質なオリジナル木質部材の総称だ。住宅の床材、天井、建具などに採用され、木の魅力を最大限に生かしたぬくもりと洗練されたデザインの空間を演出する。

住友林業 住宅事業本部 営業推進部マネージャーの中野邦彦さんは「住友林業の事業は、森を育てるところから始まり、調達、製造工程、製造拠点を経て、最終的にお客様に提供する内装材にたどり着きます」と説明する。

長く使える愛着を育てる事業運営

住友林業の木を使った家づくりに期待する消費者は多い。「木を使った住宅だから住友林業を選んだという



1. 1つとして同じものがない木材を正確かつ均一に加工し、最適な性質を持つ部材に仕立て上げる。
2. 樹種の特徴を知り尽くした担当者が、細部に至るまで議論を重ねて住宅用製品を生み出していく。
3. オイル仕上げをして油分を浸透させて木を保護することが、長持ちする住まいにつながる。

声を多く聞きます。商品の幅広さや品質の高さをしっかり伝えることがPRIME WOODの狙いです」と中野さんは明かす。

住友林業の特徴は、住宅メーカーでありながら樹種・色・木目を選び、製品化まで一貫して進めている点だ。「他の住宅メーカーは外部のメーカーに床材などの建材を発注・購入するのが一般的ですが、当社は部材の企画から製造、販売まで一貫して行う製販一体の事業運営をしています」と中野さん。インドネシアにグループ会社の工場も持ち、海外でも国内と同等品質を目指している。

PRIME WOODは床材だけでも50種のベース商品があり、トータルで60種ほどを提供している。無垢、挽板、塗装の違い、輪や木目を美しく際立たせる浮造りのような仕上げ加工、幅の設計まで、同じ樹種でも様々な商品がある。上質な部材をつくり出すには、木材ごとの特性に合わせて魅力を最も引き出す加工が不可欠だ。PRIME WOODでは部材や製品ごとに加工や仕上げの方法を設

定し、木材の魅力を最大限に引き出している。住まいは買ったあとも、触れたり、手入れをしたりすることで時間とともに表情が変わる。「木という素材をお客様の手で長く使っていただける愛着のあるものにするのが我々の使命です」（中野さん）。

PRIME WOODの思想を象徴するのが、木を余すところなく使うコンセプトだ。木材は1本1本に個性がある自然素材。節が抜けた箇所や色の変化がある部分も、使えるところはつないで製品にする。以前は廃棄していた木材も、今はウッドタイルなど小物製品へと転用する。天日乾燥の工程で生じる^{さんぎ}栈木の跡など、規格外となりがちな木材も、床材として提案する。

一方で事業の観点からは、自然素材の木を扱う難しさもある。同じ樹種でも産地や山が違えば表情が変わる。「例えば、床材などの内装材に人気の広葉樹の一種であるオーク（ナラ）は世界中に数百種類あり、同じオークでも色合いや木目、硬さといった性質は様々です。日本、

北米、欧州のオークでは見た目や特性が異なるため、その違いをきちんと伝え、産地ごとの個性を理解した上で選んでもらえるようにすることが、ブランドとしての役割です」と中野さんは言う。

製品として品質をそろえるため、同じ産地でも色味のばらつきが出る場合は工場側で並べ替えや分散を行い、木目を生かした着色で調整する。そのため、木材調達では樹種ごとに色や質の基準を定め、住友林業の担当者が各国の製材所へ実際に出向いて探している。自らの目で木材を確認しながら調達することで品質のばらつきを抑え、一定基準を満たした素材を継続的に確保する。

トレーサビリティは自然資本である木を使いながら品質を維持し、持続可能な事業を実現するための前提条件だ。住友林業では、どこで育ち、どのような経路で届いたのか不明な木材は使わない。調達の起点が不透明だと、違法伐採材の混入の懸念が残る。どの森から来た木なのか、誰がどう伐り、どう運び、どの工程を経て建材になったのか来歴を説明できることが重要になる。

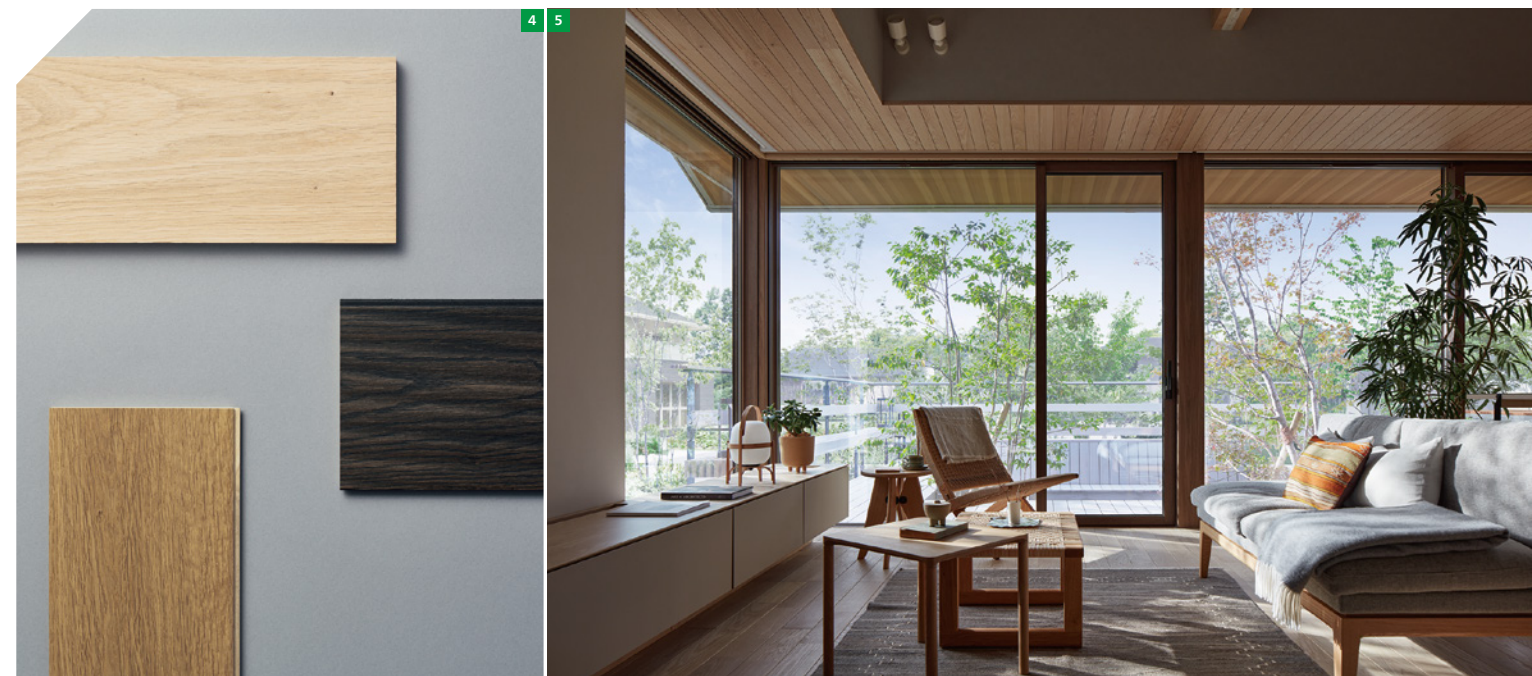
持続可能な森林経営を第三者機関が審査・認証する森林認証は単なるラベルではなく、調達、加工、供給の各段階で説明可能性を確保するためのガバナンスだ。トレーサビリティを運用し続けることが、責任と信頼のものづくりの可視化につながっている。

長持ちする住宅が環境価値に

住友林業は国内では国土の約800分の1に相当する約4.8万haの社有林を保有し、海外ではインドネシア、パプアニューギニア、ニュージーランドに約32.5万ha（森林ファンド含む）の森林を保有・管理している。そのため、自然資本を活用して事業を営む企業として、環境経営に積極的に取り組んでいる。気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の提言に従い、気候変動課題の影響をシナリオ分析して経営計画に反映している。自然関連課題については、自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）のLEAPアプローチ（発見・診断・評価・準備）を用い、事業が自然に依存している点や自然への影響、そこから生じるリスクと機会を順を追って整理した。その上で、サプライチェーン全体を見渡し、優先的に取り組むべき拠点を特定した。

樹種によって異なるものの、木は芽が出て数十年かけて成長したものを伐採する。建材となるには乾燥や製造工程に2年程度かかり、そこから住宅になって50年、長ければ100年使うこともできる。木材は長期にわたって炭素を固定し、地球温暖化対策に貢献する優れた自然の素材だ。「私たちは何より木が好きなんです。世界中の多くの人に木のポテンシャルを暮らしに取り入れてもらいたい、そのより良い選択肢としてPRIME WOODは、あり続けたいのです」と中野さんはビジョンを語る。^⑤

4. “森の王”と呼ばれるオークは、重厚感と高い耐久性や耐水性を誇り、主に高級家具の材料に使われる。仕上げにより様々な表情を見せる。
5. 室内の天井材と軒天（のきてん）の素材の木目を合わせて、外との境界を薄れさせることで解放感を演出する木調軒天は、住友林業ならではの技術。



PART 2

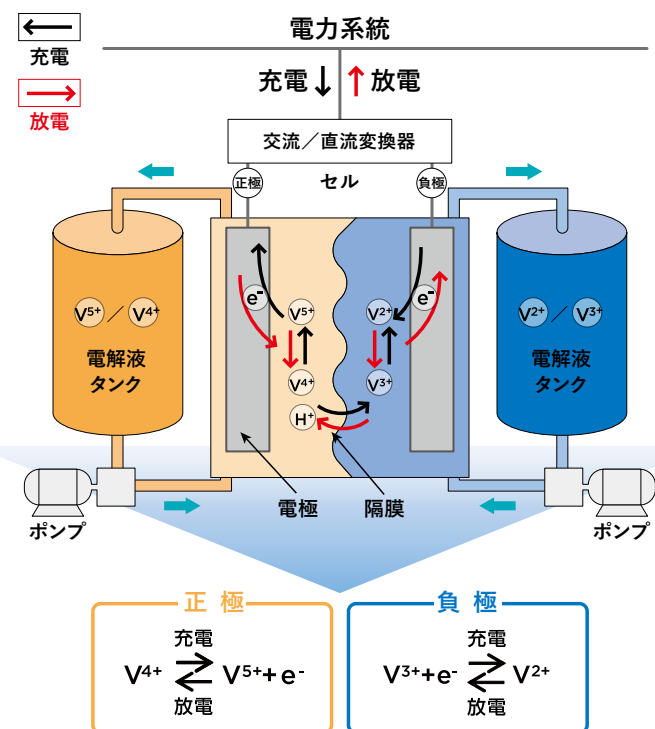
技術者の執念が拓く レドックスフロー電池

住友電工

一度は事業撤退という厳しい判断を下されながらも、レドックスフロー電池の開発は終わらなかった。「この蓄電技術は将来必要になる」。そう信じた技術者たちの努力の積み重ねが、再生可能エネルギーの普及や災害対応を支える現在の価値につながった。過去から続く挑戦と執念によって、レドックスフロー電池は今、未来の社会に応える技術として注目を浴びている。



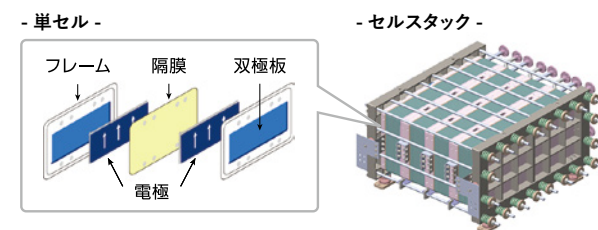
右から、寒野さん、山西さん、RF電池事業開発部事業企画部長の福井宗一郎さん、同事業企画部 国内企画グループの田村真士さん。RF電池コンテナ前にて。



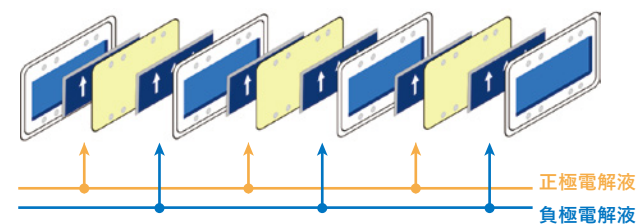
レドックスフロー電池の原理。正極・負極の電解液をタンクからセルへ循環させ、膜で隔てた電極間を電子が移動することで充放電が行われる。

レドックスフロー電池の単セルとセルスタック。単セルは電極、膜、極板で構成され、これらを積層したものがセルスタックとなる。

単セル&セルスタック



セルスタック



レドックスフロー電池（以下、RF電池）とは、電解液をポンプで循環させながらイオンの酸化還元反応によって充放電を行う大型蓄電池である。その起源は、1960～1970年代にかけてアメリカ航空宇宙局（NASA）で進められた電気化学分野の研究に遡る。宇宙開発を通じて培われた知見を背景に、大規模な電力貯蔵技術の研究が進められた中で、RF電池の原型が考案された。

基本的な構成は、液体環流型のセルを積層したセルスタックと電解液、電解液を貯蔵するタンク、電解液を循環させるポンプと配管といったシンプルなもの、電解液に

は硫酸バナジウム水溶液が用いられている。

大容量の蓄電池にはリチウムイオン電池やナトリウム硫黄（NAS）電池などがあるが、これらと比較したRF電池の特長として、高い安全性、長寿命、そして用途に応じて出力と容量を柔軟に設計できる点が挙げられる。

RF電池事業開発部開発部長の寒野毅さんは、その性質について「硫酸バナジウム水溶液は不燃性で、万一、正極と負極の電解液が混合しても発火リスクが極めて低い特性があります。また、バナジウムは複数の酸化状態をとれる元素であるため、電解液中のイオン間の電子のやり



セルスタックの組み立て工程の様子。



出来上がったセルスタックは複数人で厳重にチェック。



実証用の新型RF電池（住友電気 大阪製作所内）。

とりのみで充放電が行われることから電解液そのものが劣化しにくく、原理的には半永久的に利用できます」と説明する。

さらに、電池コンテナとタンクコンテナを独立して設計できるため、出力や放電時間を用途に応じて柔軟に調整できる点も強みだ。長期運用を前提とした耐久性や、リユース・リサイクルが可能な構成によって、環境負荷とライフサイクルコストが低く抑えられることもメリットが大きい。

「残党」と呼ばれても、可能性を諦めない姿勢

蓄電技術の可能性を探るため、住友電工が研究企画部門を発足させたのは1981年ごろのこと。当時、国の研究開発プロジェクト「ムーンライト計画」で新型電池による電力貯蔵技術の研究が進められており、同社も新規事業として参画した。複数の方式の中からRF電池に着目すると、1985年には関西電力との共同研究開発を開始。やがて研究は事業化段階へと移行し、事業部は約100人の大所帯に。鉄・クロム系からバナジウム系電解液への転換を経て性能が向上したことを契機に開発が進み、2001年には大学や工場向けに製品納入が始まった。

しかし、RF電池の実用化には壁が立ちはだかった。納入先で電解液漏れなどの不具合が相次ぎ、修理を繰り返した。改良を試みても解決のめどが立たず、最終的には他社システムに入れ替える決断をすることに。「大規模なシステムとして実際に運用して初めて見えてきた課題がありました。厳しい叱責を覚悟して謝罪に回りましたが、逆に『新技術の開発には失敗がつきもの。それを乗り越えてこそ、次があるんだ』と励ましてくださる方も少なくあり

ませんでした。その言葉に、簡単に諦めてはいけないうと背中を押されました」とRF電池事業開発部長補佐の山西克也さんは振り返る。

2005年、住友電工は多額の損失を出したRF電池事業からの撤退を決断した。「悔しく、情けない気持ちでしたが、この技術に可能性が無いとは思えなかった。いつか必ず評価される時が来ると信じていました」と山西さん。事業部は解散し、残ったのは補修対応にあたる10人足らずのメンバーのみ。ところがその裏で、さらなる開発に向けた予算が確保されたという。「販売は行わないが、“壊れないRF電池”を開発せよ」。経営陣から与えられた2年間の猶予のもと、電解液漏れの原因となっていた樹脂フレームの改良に着手。射出成形メーカーと試行錯誤を重ね、厚み精度が±0.1mm以下の構造を実現するなど、主要な不具合を1つずつ克服していった。

「一度開発した技術をなおざりにしないという住友電工のプライドと責任があったのだと思います。残ったメンバーは『残党』などと皮肉られながらも、いつか来るその時を見据えて手を尽くしました」（寒野さん）

最長30年間の運用を実現した新型RF電池

それから約4年、RF電池の可能性を信じ続けた開発メンバーの動きかけによって、事業は再び動き出した。当時、次世代電力ネットワーク「スマートグリッド」が注目を集め始め、顧客からRF電池の状況を問う声が寄せられていたという。「改良はすでに進んでいると経営陣に伝え続け、ようやく再開が認められました」と山西さんは言う。

液漏れの完全排除に加え、材料開発などによる改良を

重ねた結果、2012年に構築した試験システムは市場から高い評価を獲得。その後、北海道電力での大規模実証試験や、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）と連携した米カリフォルニア州での日米初のマイクログリッド実証へと展開していった。

開発メンバーにとって忘れがたい出来事が、2018年9月6日に発生した平成30年北海道胆振東部地震である。道内の観測史上初の震度7を記録し、北海道全域が停電する未曾有の事態の中、南早来変電所^{みなみはやきた いぶり}に設置されていた同社の大型RF電池が復旧プロセスを支える設備の1つと

して活用された。

「現地確認を経て稼働を開始し、発電設備や風力発電と連携しながら系統復旧が進んでいきました。技術開発にばかり目を向けがちな私たちにとって、電気を一刻も早く届けるという社会的使命を、電力会社と同じ目線で実感した出来事でした」と山西さんは語る。

今日、RF電池に求められる社会的役割は着実に広がっている。再生可能エネルギーの蓄電設備として地域に導入することで、エネルギーの地産地消や地域経済の活性化につながっており、住友電工では島根県・隠岐諸島や新潟県柏崎市などで導入実績を重ねてきた。すでに海外でも多数採用されており、このほどオーストラリアの鉱山への導入が予定されている。これは「発火しない」という高い安全性が評価された結果だ。

2026年1月に受注を開始した新型RF電池は、エネルギー密度を従来比で約15%向上させるとともに、長寿命材料の新規開発により、最長30年の長期運用を可能とした。今後は災害時の非常電源に加え、生成AIの普及を背景に需要が拡大するであろうデータセンター分野での活用も視野に入れる。地球環境の保全と高度化する社会インフラの双方を支える存在として、住友電工への期待はますます高まっている。^⑧

地域新電力会社向け系統用蓄電池として新潟県柏崎市に導入されたレドックスフロー電池と太陽光パネル。出力1,000kW、容量8,000kWhの大規模設備で、国内最長クラスとなる約8時間の放電が可能。





夏休みなどの長期休みは 親子ともに成長するチャンス！



イラスト：ハヤシナオユキ

小学生がいる共働き家庭にとって、夏休みや冬休みなどの長期休みは悩みの種でもある。子どもたちは休みでも親たちは仕事の毎日、どんな工夫をしているのか。住友グループ3社の社員が、これまでの長期休暇での経験や今年の夏休みに向けた悩みなどを語り合った。



左から

船戸尚志さん（日本板硝子 デジタル戦略推進部 アプリケーショングループ）

平井美帆さん（住友ベークライト 人事本部 DE&I推進室）

岡田沙紀さん（三井住友カード 加盟店管理部〈大阪〉）

親が仕事の間「どこでどうやって過ごすか」が問題

平井 我が家の子どもたちは中1の長男と小4の次男、男の子2人です。夫は4年前からインドネシアに単身赴任中なので、私のワンオペで子育てをしています。

岡田 うちの夫も2年前から東京に単身赴任をしています。子どもは小5の長女と小3の長男の2人です。

船戸 うち小3の長男と3歳の次男の2人で、下の子は保育園に通っています。長男は昨年度まで学童に通っていましたが、3年生からは自宅で過ごす時間をメインにしています。お二人のお子さんたちはやはり学童に通っていますか。

平井 低学年のうちは学童を利用していたのですが、小学校で預かってもらえる放課後キッズクラブ（以下、キッズ）

という横浜市の取り組みが始まってからはそちらを利用しています。上の子はもう中学生なので行きませんが、通い慣れた学校ですし、長期休みにはお弁当を出してくれるので本当に助かっています。

岡田 お弁当持参ではないのはうらやましいですね。私は「お弁当地獄」と呼んでいるくらい、長期休みのお弁当づくりが本当に大変で……。2人とも学校内にある学童に通っています。大阪市が運営していて、勉強の時間やグラウンドで遊ぶ時間のほか、午後は映画鑑賞などの時間もあり、子どもたちは楽しんでいるようです。

船戸 うちは長期休みに限らず、普段から妻と私のどちらかが在宅勤務になるようスケジュール調整をしています。長男は昨年度までは学童に行っていましたが、本人が家にいることを希望したので、週の半分くらい学童へ行き、それ以外は自宅で過ごすスタイルになりました。

平井 うちの長男も4年生から受験のために塾に通っていたので、キッズには行かなくなりましたよ。

岡田 学童は低学年の子が多いので、高学年の子たちは行きたがらなくなりますね。幸い娘は小さな子たちの面倒を見るのが好きで、下級生たちにも懐かれていますので、それを楽しみに行っていました。でも、5年生になった今年の夏休みはどうかと思うので、1人で留守番する日もあるかもしれません。

家族で楽しめるイベントも長期休暇の醍醐味

平井 楽しいとはいっても夏休み中ずっと学童通いは飽きてしまうと思い、兄弟で2泊程度の自然体験キャンプに参加させたことがあります。いい経験になったようです。お盆休みには、私と子どもたちでインドネシアにいる夫に会いに行くのも長期休みの行事ですね。岡田さんはどうしていますか。

岡田 我が家は、夫の実家と私の実家に行くことが毎年の恒例になっていて、旅行気分です。あと、当社は毎年夏に子どもたちを会社に招く「こども会社見学会」があり、うちの子たちも毎年遊びに来ています。このイベントは楽しいだけでなく、子どもに仕事内容を理解してもらおう機会にもなっています。

船戸 長男は科学好きなので、夏休みは研究所や大学が開催しているイベントに行きます。ただ、そういったイベントは人気で、定員が早く埋まることが多いので、次の夏休み

は早めに情報収集しようと思っています。あと、「花火をしたい」とリクエストがあり、初めて家族で花火をしました。花火を禁止されていない場所調べから始めて、近くの川辺で行えることが分かり、そこで花火を楽しみました。

岡田 長期休みならではの子どもたちのケアもありますね。学童での過ごし方は私も気になるので、毎日仕事から帰るといろいろ話を聞くようにしています。ただ、「楽しかった?」と聞くと子どもが『楽しかった』と答えないと親を心配させちゃう」と思うと何かで読んだので、「どうだった?」と、聞き方を工夫するようにしています。

平井 次男は一日中キッズは嫌だと言うので、時間を決めて帰っていいことにしました。帰宅後は友だちと遊ぶ時間もできて楽しいようです。長男は去年、受験生だったので、体調管理に気をつけていましたね。

船戸 学童ではなく自宅で過ごす時間が長いので、生活リズムが乱れないようにするのに一番気を遣っています。始業前に、宿題やお手伝いなどの「やってみようリスト」の中から、息子が当日やることを決めて、予定を立てて過ごすようにしています。

岡田 私は娘に助けられることが多いのですが、親がいないほうがちゃんとしていると最近気づきました。

平井 そうなんですね。私がいるとガミガミ言われなければやらないのに、2人だと時間通りにちゃんと動ける。あまり言いすぎないほうがいいのじゃないかな。

船戸 うちも両親とも忙しくしていたら、自分でレトルトカレーを温めて昼食を食べていた日がありました。自分のできることが増えて、長期休みはこういう成長を見られる機会になりますね。⑥

これからに向けて

船戸：仕事への注力を強めつつ、在宅と出社のバランスも維持していきたい。長男は数学や物理の本が好きだが、文系の私には専門外のため少しでも理解して面白さを共有できるようにしたい。

平井：次男も留守番できるようになったので、出張に行くなどさらに仕事に注力したい。他の事業拠点の方たちとDE&Iについて直接話す機会をつくりたい。

岡田：「子どもに寂しい思いをさせていないか」と不安になることもあったけれど、今は、子どもたちに「働いている私のママはカッコいい!」と思われる存在になるのが目標。



Illustrator Miki Tanaka

Visits Sumitomo Group

【イラストポ】

田中未樹の住友グループ探訪

今回の
テーマ

DUNLOP（住友ゴム工業）
白河工場

タイヤ事業を軸に、スポーツ用品や産業用ゴム製品などを手掛ける住友ゴム工業。国内最大規模の生産能力を誇る福島県白河市の白河工場では、現在、水素エネルギーと太陽光発電の活用により、製造時のカーボンニュートラルを実現するタイヤ製造の実証実験が進行中だ。水素エネルギーの地産地消に取り組んでいる現場を訪ねた。



1. 白河工場は1997年に国際規格ISO14001認証を取得。2023年に設置された従業員用カーポートに設けている太陽光発電は2MWで国内でも有数の規模。

2. タイヤ製造拠点は国内では白河工場を含め4工場、海外は7工場がある。



住友ゴム 水素プロジェクト
担当の
中田さん



好きな言葉は「一期一会」。

水素トレーラー

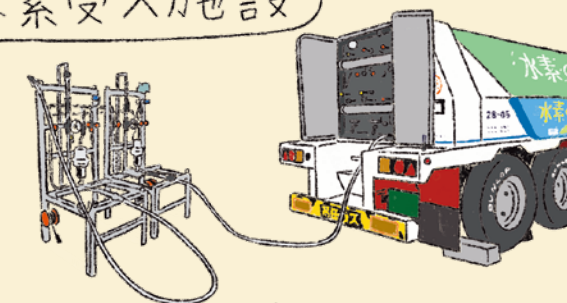


福島県内から白河工場へ。

水素で製造した第1号タイヤ

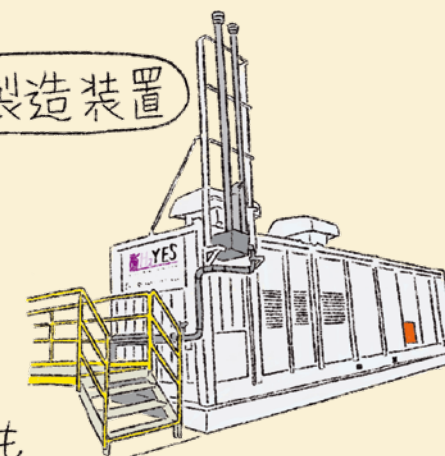


水素受入施設



運んだ水素をボイラーへ。

水素製造装置



ここでも
水素をつかってボイラーへ。

門をくぐると、正面にDUNLOP（ダンロップ）の文字が形づくられた植栽が目を引く。ここは住友ゴム工業の白河工場だ。1974年に稼働した日本最大規模のタイヤ製造拠点で、軽自動車から大型トラックまで月産1万t（ゴム量）を超えるタイヤを生産している。「カーボンニュートラルに向けた取り組みの1つとして、水素エネルギーを活用したタイヤを製造しています」と話すのは、環境戦略推進部で水素プロジェクトを担当する中田延明さんだ。

タイヤの製造は主に6工程に分かれる。原料ゴムとカーボン、薬品を混ぜ練り合わせる「混合」、タイヤの部品をつくる「材料」、部品を貼り合わせてタイヤの原型をつくる「成形」、加熱と加圧で化学反応を起こし強力な弾性ゴムのタイヤに仕上げる「加硫」、さらに「検査」「出荷」だ。このうち混合や材料、成形は電力を消費するが省エネと再エネで脱炭素が可能だ。一方、加硫は200℃もの高温と高圧の蒸気が必要で、電力から得ることが技術的に難しいため、天然ガスが燃料として使用されてきた。「CO₂の

排出が避けられず、タイヤ製造におけるカーボンニュートラルの最大の課題でした」と中田さんは説明する。

住友ゴム工業では2010年ごろから工場の脱炭素化実現に向けて、電気やマイクロ波加熱など多くのエネルギー転換の方法を検討した。2020年ごろに有力な選択肢として浮上したのが、水素だった。水素は電気を使って水から取り出せるほか、様々な資源から生成でき、燃焼させて熱エネルギーとして利用してもCO₂を排出しない。

さらに水素の大きな特長として、「水素を燃焼させて蒸気をつくる方式であれば、熱源となるボイラー以外は既存の設備や長年培ってきた製造のノウハウを生かせる」と中田さんは言う。また、福島県という工場の立地が白河工場における水素利用を後押しする。福島県は『福島新エネ社会構想』を掲げ、現在再生可能エネルギー導入率が40%以上を占める再生可能エネルギー先進県だ。県内には再生可能エネルギー由来のグリーン水素を製造する世界最大級の施設「FH2R」をはじめ、近隣3つの市町に水素供給拠点がある。

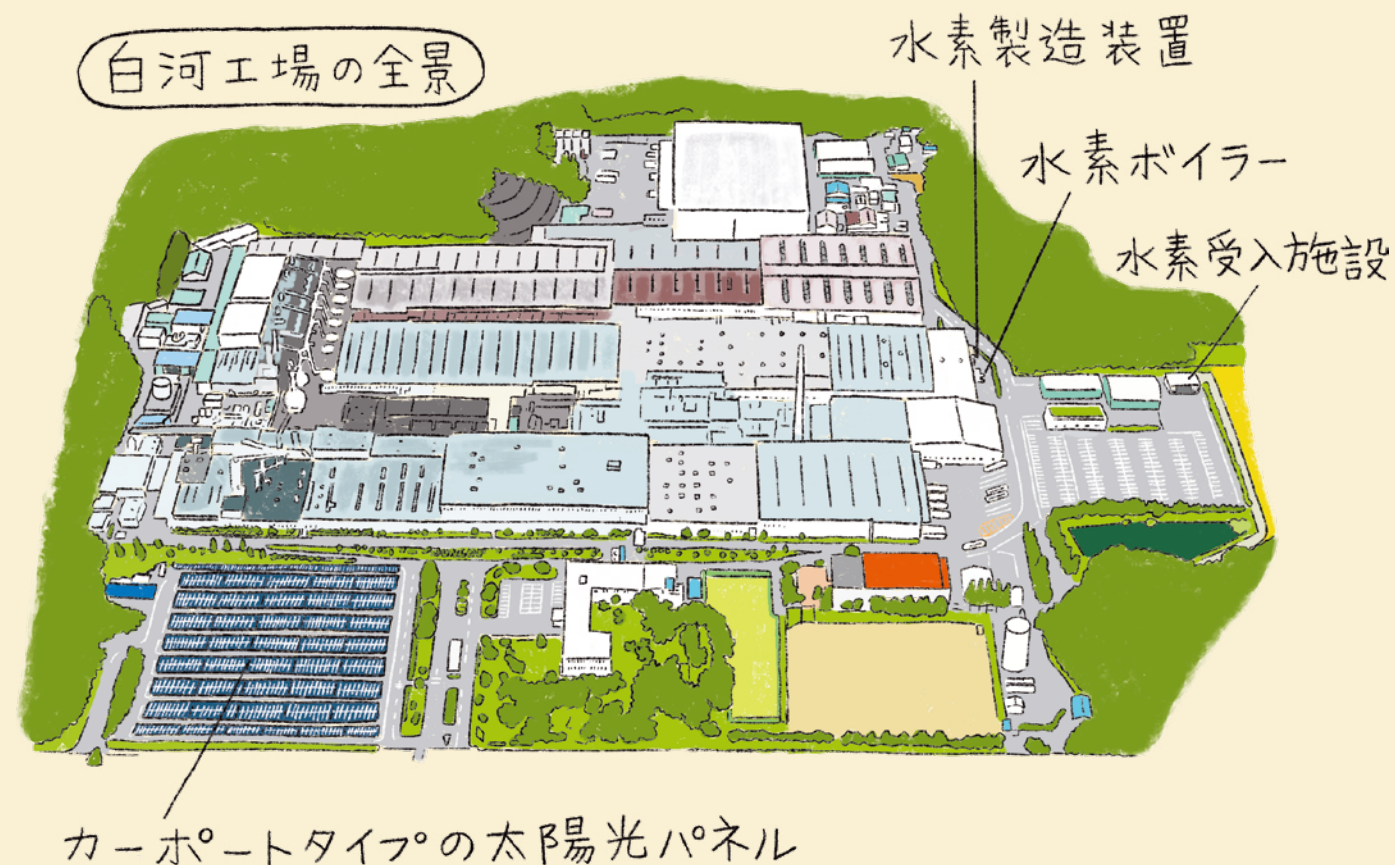
「水素は供給側の研究は進んでいるものの、実際に活用する需要側の実証研究はほとんど例がなく、地域の行政と水素供給会社の協力を得ることになりました」と中田さんは話す。2021年8月に国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業に採択され、2024年3月まで水素ボイラーを活用した実証実験を行った。福島県内の水素製造拠点から水素を調達し、タンクに白河市のシンボルである南湖と小峰城が描かれた水素トレーラーでの輸送や工場内での受け入れ体制を構築。これまでの液化天然ガスに代わる高圧仕様の水素ボイラーの開発などを経て、水素で高温・高圧の蒸気を発生させてエネルギーを転換し、タイヤの製造に活用した。また、従業員が利用する駐車場に2MWの太陽光発電のパネルを設置。2023年1月に、水素エネルギーと太陽光発電を使用して製造時カーボンニュートラルを実現するタイヤの生産を日本で初めて開始した。

こうした実証実験の成果と水素の安定供給やコストといった課題を踏まえ、2024年5月に山梨県が中心となって開発を進めてきた次世代型のエネルギーシステム「や

まなしモデルP2Gシステム」の導入を決定した。太陽光発電などの再生可能エネルギーを活用して水を電気分解し、環境負荷が少ないグリーン水素を製造するというものだ。2025年4月からはNEDOの実証としてP2Gシステムによる水素製造装置の運用を開始した。

「出力が変動する水素ボイラーに対して、24時間連続稼働に必要な水素をしっかりと供給できるか、また耐久性に問題がないかといった課題の解決に取り組んできました。実証試験では本体に大きな問題は見られなかったものの、排気ガスを管理するために設置していた付随の小型センサーが凍結するという事態が発生しました」（中田さん）

こうしたこともあり、水電解の実証ではNEDOと相談してもう1年冬場の検証をする予定だという。9カ月間の稼働で水素の製造量は40tという大規模な実証になった。それでも現時点で水素ボイラーが担うエネルギー量は、白河工場全体から見れば数%に過ぎず、小さな一歩にとどまっている。だが、課題を一つひとつ克服していくことが、脱炭素につながる。水素をつくって使う地産地消モデルを構築し、カーボンニュートラルの実現に貢献していく考えだ。❶



Crossing Borders

世界とつながる私たち



齊藤雅敏さん

三井住友ファイナンス&リース
アジア戦略企画部 兼 シンガポール支店
部長代理

2018年入社。入社後3年間は営業担当者として顧客へリースを中心とした金融サービスを提供。その後、M&Aや出資を行う戦略企画室に異動。アジア戦略企画部の新設に関わり、2022年からシンガポール勤務。

シンガポール拠点設立から携わり、グローバル展開の知見を獲得

三井住友ファイナンス&リースは、APAC（アジア太平洋）地域における投融資ビジネスを強化するための拠点をシンガポールに設置。アジア戦略企画部の設立から携わってきた齊藤雅敏さんは、オフィスの契約や銀行口座の開設、現地スタッフの採用など、拠点の立ち上げにも尽力してきた。「シンガポールに赴任した2022年は、コロナが終息しておらず、様々な制約の中で設立準備をするのは大変でした」と当時を振り返る。

現在シンガポールの拠点では、APACでの投融資ビジネスの営業推進企画をはじめ、M&Aや業務提携といったインオーガニック案件の推進、同国における業務拡大のためのプラットフォーム構築に取り組んでいる。「2024年12月に買収したAravestがファンドを立ち上げ、優良不動産を取得する際には、超大手プレーヤーを退けて売主との優先交渉権を取得することも珍しくありません。そのような場面において、長年にわたって築かれてきた『Sumitomo』の信用力の高さ、住友グループの強みを感じます」。

日本の働き方との違いから学ぶことも多い。「シンガポールは専門性を突き詰めるジョブ型の働き方で、幅広く何でも経験する日本の働き方とは異なる面白さがあります。また、女性管理職の多さ、早く帰宅して家族との時間を大切にする文化などは日本との違いを感じます」。

入社以来の金融、M&Aの知見に加えて、グローバルでの経験を身につけた齊藤さん。「さらに活躍のフィールドを広げていきたい」と展望を語った。❷



買収したAravestと同じフロアで執務。グループ丸となって、ビジネス拡大に尽力。

私の座右の書



『ファイナンシャル・マネジメント 改訂3版 企業財務の理論と実践』

ロバート・C・ヒギンズ 著 / グロービス経営大学院 訳

M&Aの部署に異動になった時に通ったグロービスのビジネスコースで使用した教科書。「ほとんど知見がない状態でM&Aに携わることになったので、ファイナンスについて一から学ばせてもらいました。シンガポールに来てからも、当地で取得した不動産物件の価値算定や毎年のシンガポール拠点全体の事業計画策定など、シンガポールでの業務全般にも役立っていて、私にとってのバイブルです」。

Sumitomo's Modern Development

近代住友の歩み | Part 48 | ゆかりの地編

事業発展を育んだ大阪へ

友純が遺した「知の宝物庫」



1. 神殿建築の宝物庫をなぞったともされる中之島図書館。2. 「建館寄付記」には、寄付に寄せる友純の言葉が記されている。3. ホールに飾られている「ダーウィン」のプレート。4. 時の要人たちのための特別閲覧室として使われた「記念室」。5. 訪れる人を魅了する天蓋ドームの中央ホール。

大阪府立中之島図書館

大阪メトロ御堂筋線の淀屋橋駅から徒歩5分、大阪市役所本庁舎の東側に隣接して大阪府立中之島図書館はたたずんでいる。コリント式列柱に支えられた外観はギリシャ・ローマの神殿建築様式を取り入れた造りで、正面入り口には「大阪図書館」と掲げられている。1904年に中之島図書館ができた当時、大阪に本格的な図書館は1つもなかった。そのことを憂えた住友友純が、江戸時代から事業を営んできた大阪に報いたいと15万円で中之島図書館を建築し、図書購入基金5万円とともに大阪府に寄贈した。大阪図書館の命名から、大阪にこれありという意気込みが伝わってくる。

中央ホールに入ると、天蓋ドームの大きな空間が広がっている。円形のステンドグラスが趣きを醸し、ネオ・クラシズム（新古典主義）の外観とバロック様式を基本とした内部空

大阪の経済、文化、行政の中枢として歴史を重ねてきた中之島には、戦前に建てられた多くの歴史的建造物が今なお残されている。その1つが、15代家長・住友友純が寄贈した大阪府立中之島図書館。現役の公立図書館としては、日本最古の建築物だ。

間の意匠の違いが独自の調和を生んでいる。大階段の正面にある巨大な銅板は、友純の言葉が記された「建館寄付記」。ホールをぐると見渡せば、菅原道真や孔子、ソクラテス、アリストテレス、カントといった賢人たちの名を記した銘板が並び、ここが知の拠点であることを印象づけている。

階段を上がった中央の「記念室」は、正面にある半円の扇窓（ファンライト）や、当時のまま残る家具の数々が往時の面影を伝えている。

開館から120余年、今なお多くの人に愛される

友純が中之島図書館の建設を志したきっかけは、1897年の欧米諸国への旅で、富豪たちが文化や社会事

業に私財を投じ、奉仕する姿に深い感銘を受けたことにある。帰国して間もない1900年に、図書館の建物と図書購入基金の寄付を大阪府議会に申し出ている。興味深いのは単なる資金提供にとどまらず、自らが施主となって意匠の決定にも関わっている点だ。芸術に造詣の深い友純ならではの姿勢を感じさせる。

設計は、住友本店臨時建築部（現在の日建設計）の技師長・野口孫市^{まごいち}と日高胖^{ゆたか}が担当した。建設当時、御堂筋をはさんだ向かい側で日本銀行大阪支店の建築が始まっており、その設計者は、住友本店の建築顧問でもあった建築家・辰野金吾だった。毎月来阪する中で教え子である野口との交流があり、中之島図書館の工事顧問を務めたことが棟札に残されている。

本図書館に寄せられる期待は大きく、開館1カ月後には開館時間が夜間まで延長されたという。館内閲覧が12歳以上だったため、小学校関係者からの要望で、1909

年の夏休みには「臨時児童巡回文庫」も開始された。

その後も利用者は増え続け、本館の拡張が構想された。1922年に左右両翼2棟が増築された際も、それらの建物は友純による寄贈であった。本館と左右両翼2棟は、1974年に国の重要文化財に指定された。

現在は、大阪関連の文献や古典籍、ビジネスに関する書籍を所蔵し、調査相談にも応じている。2024年度の入館者数は32万人余りで、建物の見学を目的とする来館者も多い。2026年4月からは館内に新たなカフェがオープンした。120年余りを経てなお、中之島図書館はその存在感を大阪に輝かせている。⁹⁰

Information

- 住所 …………… 大阪市北区中之島1-2-10
 - 開館時間 …………… 9:00～20:00（土曜～17:00）
 - 休館日 …………… 日曜・祝日、3、6、10月の第2木曜日、年末年始
 - URL …………… <https://www.library.pref.osaka.jp/nakanoshima>
- ※館内の撮影は中央ホールのみ可能（三脚の使用不可）。

新社長就任

▶ 三井住友カード社長に佐々木丈也氏が就任



2026年6月30日、三井住友カードの代表取締役社長に代表取締役副社長執行役員COOの佐々木丈也氏が就任した。佐々木氏は1991年に住友クレジットサービスへ入社し、三井住友カードネットビジネス事業部長、執行役員マーケティング統括部長、常務執行役員マーケティング

本部長兼マーケティング統括部長、専務執行役員マーケティング本部長兼三井住友フィナンシャルグループ兼三井住友銀行などを経て、2025年4月から代表取締役副社長執行役員COOを務めていた。⁵⁰

住友金属鉱山、三井住友ファイナンス&リース

▶ 住友金属鉱山新居浜工場でオンサイト型自家消費太陽光発電サービスを開始



住友金属鉱山と、三井住友ファイナンス&リースの戦略子会社・SMFLみらいパートナーズは、住友金属鉱山新居浜工場でオンサイト型自家消費太陽光発電サービスを開始した。

SMFLみらいパートナーズが同工場に設置した太陽光パネル（パネル

容量：約1.8MW）で発電した電力を供給することで、2026年度は同工場で使用する電力の約7%が太陽光発電由来となる。住友金属鉱山は工場での再生可能エネルギー利用を進めており、SMFLみらいパートナーズは同社の脱炭素化と電力コスト安定化に貢献する形だ。⁵⁰

住友化学、住友ファーマ

▶ パーキンソン病患者対象のiPS細胞由来医薬品「アムシェプリ」の製造販売承認を取得

住友化学は、グループ会社の住友ファーマ及び住友化学と住友ファーマが共同出資するRACTHERAが研究開発を進めていた日本における非自己iPS細胞由来ドパミン神経前駆細胞「アムシェプリ」の製造販売承認（条件及び期限付承認）を取得したことを発表した。

アムシェプリは既存の薬物療法で十分な効果を得られないパーキンソン病患者の運動症状改善を効果、効能、性能とする製品で、iPS細胞由来の再生・細胞医薬品としては世界初の承認事例となる。製造は住友化学と住友ファーマが共同出資するCDMOであるS-RACMOが担う。⁵⁰



NEC

▶ 価値創造モデル「BluStellar」をAIを中核として強化

NECは、AIが社会構造を変えつつある環境の変化を踏まえ、同社の価値創造モデル「BluStellar（ブルーステラ）」をAIを中核として強化する。進化したBluStellarでは、NECの先進的知見と最先端テクノロジーでビジネスモデルを変革し、社会課題と顧客の経営課題を解決して、顧客

のAX（AIトランスフォーメーション）を支援する。まず、NECグループ自身がAIの全面的な適用・活用によるAXを実践し、社会と顧客のAIネイティブ化を加速することを目指す。⁵⁰

BluStellar

三井住友フィナンシャルグループ

▶ 新秩父宮ラグビー場のトップパートナー契約を締結し「Olive」を冠した副名称を発表



三井住友フィナンシャルグループは、東京・神宮外苑に整備される「新秩父宮ラグビー場」のトップパートナー契約を締結した。これに伴い上記の正式名称のもと、「SMBC Olive SQUARE」が副名称となる。今回の取り組みのテーマとして、同グループのこの挑戦を来場者に体験しても

らう、先端技術を持つスタートアップ企業等が同施設を実証実験等に活用できるようにする、次世代を担う子どもたちに向けた挑戦をサポートする、の3点を掲げている。⁵⁰

※「新秩父宮ラグビー場」は現時点の仮称。※「SMBC Olive SQUARE」という名称は2030年5月（予定）の施設運営開始日より効力発生。※掲載されているロゴ・ビジュアルは、今後の検討・協議により、計画内容が変更となる場合がある。

住友グループ広報委員会

▶ 第33回一筆啓上賞 入賞作品の顕賞式を開催

2026年5月17日、日本一短い手紙「第33回一筆啓上賞」顕賞式が福井県坂井市の「たかむく古城ホール」で開催され、全国から受賞者が家族らと駆け付け、関係者とともに会場を埋め尽くした。

今回のテーマは、「失敗・成功」。顕賞式に先駆けて発表された大賞5

編、秀作10編、住友賞20編、坂井青年会議所賞5編、佳作117編、計157作品の入賞が称えられた。様々な想いが詰まった受賞作品は、坂井市立丸岡南中学校の生徒4人により朗読され、受賞者に越前織の賞状が授与された。⁵⁰

